

「憲法九条を守るわかやま県民の会」ニュース

NO.99 09.6.22 発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

金原徹雄弁護士が講演

“7. 5 憲法署名総行動を前回は大きく上回る規模で成功させよう” 「県民の会」運営委員会開催される

6月17日(水)午後6時から高校会館4階ホールで第14回「県民の会」運営委員会が開催されました。最初、「憲法9条を守る和歌山弁護士会」事務局長の金原徹雄弁護士より、「最近の憲法情勢について」の講演をしていただきました。その中で、7400を超える「9条の会」の活動などを反映して、新聞などの世論調査で9条を守ろうの世論が多数になるなど、9条を守る運動は着実に前進をしているとはいえ、なお現実の情勢は到底楽観を許すものではない。自衛隊のソマリア沖への派兵と海賊対処法の強行、衆議院での憲法審査会規定の可決など、憲法9条破壊と明文改憲のための準備が着々と進められている。気を緩めることなく引き続き9条を守る運動を強めよう。さらに、目前に迫った総選挙で護憲派を多数国会へ送り込むことが大切である等、大変わかりやすくお話いただきました。

ひきつづき議事では、7. 5署名総行動のとりくみ、憲法運動の当面の課題の提案がおこなわれ、各団体から取り組み状況等、意見交流が行われました。7. 5署名行動については、参加者数を前回の1. 18を上回ることを目標にして取り組みを進めている労組の現状が紹介されました。また最近の憲法情勢を各団体であらためて学習することの必要性が強調されるとともに、「9条せんべい」を使った対話経験、「9条に乾杯」のとりくみ等、多面的な学習・宣伝の取り組みが紹介されました。

7. 5 憲法署名全県総行動の準備が各地で

和歌山市では9地域と駅頭宣伝を計画

6月18日夜7時より和歌山市教育会館で和歌山市共同センター主催の団体代表者・運営委員合同会議が行われました。深谷事務局長より、最近の憲法をとりまく情勢の報告があり、9条を守ろうの世論が、どの報道機関調査でも多数になっている一方、憲法審査会規定が衆議院で強行され、海賊対処法強行などで武力行使の拡大など自衛隊海外派兵恒久法へ向けての危険な動きなど改憲派の動きも強まっている中、9条を守る世論を引き続き強めようと訴えました。協議では7月5日の行動計画は9地域とJR和歌山駅頭宣伝が計画され、その他、2地域も別の日に地域行動が計画されていることを確認しあいました。また、前回は上回るよう労組、民主団体は出来るだけ多数、地域に分かれて参加できるように頑張ることを確認しました。

那賀地域 前回は上回る規模をめざす

6月10日、那賀教育会館で7月5日全県統一行動に向けての代表者会議が14名参加の下で開催されました。当日は、「月光の夏」上映が中心課題でしたが、全県統一行動に関しても、前回旧那賀町での行動が出来ていないので今回どうするのか、事前ビラをどうするのか、各団体からの参加者は各地域に分かれて参加をするのかなどが話し合われました。結果、5地域の集合場所・時間が決められ、那賀郡民の会全24団体として、全力を挙げ前回は上回る規模をめざすことなどが合意されました。日ごろから地域署名に取り組んでいることや全県統一行動も2回目ということで手際よく課題も明らかにしながら決意の程が伺える代表者会議となりました。なお、那賀町は日をずらして行動することになりました。集合場所と時間は次の通り。①岩出 教育会館 9:00 ②打田 紀ノ川市役所 9:30 ③粉河 粉河中学校付近 9:00 ④桃山 阪中氏宅 10:00 ⑤貴志川 西貴志コミュニティーセンター 9:45

海南・海草 新たに紀美野町でも計画

海南・海草地域では6月11日、代表者会議が開催されましたが、当日急な欠席者が出たことや事務局提案について再度検討する必要があり、改めて同17日事務局会議が開かれました。事務局会議では、他都市と同様前回の行動が予想を上回る規模で取り組まれたことや毎月の9の日を中心とする地道な地域署名の取り組みを背景に、前回並みの規模で行なうこと、初めての参加者のために街頭署名・宣伝行動を3箇所で行なうこと、初めて紀美野町で地域署名を行なうことなどが話し合われました。そして代表者会議を23日に再度開催することとしました。また、ハンドマイク、のぼり、パンフレット、署名板、事前ビラ配布なども準備することとしました。海草地域では地域9条の会5団体を含む15団体がありますが、充分活動することに課題がある団体もあり、統一行動を一つのきっかけとして前進することが期待されています。

第1回「伊都・橋本9条まつり」大成功

6月14日(土)、伏原体育館(橋本市高野口町伏原)にて、「第1回伊都・橋本9条まつり」を250人規模で開催し、大成功をおさめました。



「連絡会」事務局は当初、「まつり」に「どれだけの人が来てくれるだろうか」と不安だったし、模擬店(ポップコーン、クッキーとコーヒー、バザー、野菜、たこ焼きなど)出展者のみなさんも50人分などと控えめ。ところが始まる頃には100人を超え、グループによるうたごえでオープニングとなり、つばさ、島人ぬ宝など歌いました。その後、浦本さんによるマジック、ふれあいサロン「街っち箱」の大正琴、そして紀北農芸高校和太鼓部の雄大な演奏に大きな感動と若い世代への期待を膨らませました。そして最後に九条コーラスで締めくくりました。

参加者は、名簿記載者が200人弱に達し、出演者、大勢の地域の人(これがすごかった)など未記入の人もいっぱいいて、昼頃には模擬店で品切れ。無料券を渡した人からは、「食べるものがないぞ」とうれしいお叱りの声も。スタッフ、出演者、参加者の誰もが、盛況な「まつり」になったことから、満面の笑顔と満足感いっぱいの気持ちになりました。早くも、「来年も是非やりたいね」などの声が飛び交いました。

特に、紀北農芸高校和太鼓部の演奏に感動したという感想が多く出されました。和太鼓を演奏してくださった農芸高校の生徒諸君にはこのまつりの意義を話してほしいと顧問団の先生にお願いしました。(草田信行)